

# 産経リサーチ&データがアンケート調査 WBC「Netflixで観た」29.4% ラジオ最注目 視聴環境変化に賛否

産経新聞グループの調査会社、産経リサーチ&データ（代表取締役社長・栗本洋）は、ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）の観戦・視聴に関するインターネットアンケートを実施しました。今回の調査は、1次リーグC組終了後の3月10日から3月11日まで2,868人の回答を得ました。今大会のリアルタイム放送は、地上波（無料テレビ放送）がなく、Netflixによる独占配信とラジオ中継のみという異例の事態。視聴環境の変化がファンに与えた衝撃が明らかになりました。

## ■設問 あなたはWBC1次ラウンド（プールC）の日本戦をリアルタイムで視聴しましたか？（複数回答）

No.	結果	件数	率
1	Netflixで視聴した	844	29.4%
2	ラジオやradikoの実況で楽しんだ	352	12.3%
3	東京ドームで観戦した	35	1.2%
4	パブリックビューイングに参加した	11	0.4%
5	リアルタイムでは見ていない	1683	58.7%
	回答人数	2868	

## ■設問 （Netflix利用の場合）Netflixの利用はどうしましたか？

No.	結果	件数	率
1	もともと利用していた	407	48.2%
2	WBCに合わせて契約した	368	43.6%
3	Netflix利用者に見せてもらった	69	8.2%
	合計	844	

## ■設問 今大会は「Netflix独占配信で、地上波でのテレビ放送なし」という異例の形になりました。この点について、あなたの意見に最も近いものはどれですか？

No.	結果	件数	率
1	スマホなどで場所を選ばず見られてよい	128	4.5%

2	これからの時代、世界的なスポーツ大会が有料配信になるのは自然な流れだと思う	269	9.4%
3	地上波で見られないのは残念だが、放映権料の高騰などを考えればビジネスとして仕方ない	612	21.3%
4	子供や普段野球を見ない人が偶然目にする機会が減るため、将来の野球人気が下がりそうで心配	210	7.3%
5	日本代表が戦うような国民的な大イベントなのだから、誰もが見られる地上波で放送してほしい	1495	52.1%
※6	その他（自由回答）	154	5.4%
合計		2868	

※6 その他の自由回答（抜粋）

「年寄りから楽しみを奪うことになった。設定が難しくて手が出せない。」（70代・男性）

「Netflixは画質も良く解説も充実しているが、やはりお茶の間のテレビで家族と観たかった。」（50代・女性）

「NHKに高額な受信料を払っているのだから、公共放送の責任で放映すべきではないか。」（60代・男性）

「Netflixで全試合観られるのは利便性が高いが、野球界の未来を考えると地上波の露出は不可欠だと思う。」（20代・男性）。

■設問 準々決勝以降、活躍してほしい侍ジャパンの投手は誰ですか？（3名以内）

No.	結果	件数	率
1	宮城 大弥	400	13.9%
2	伊藤 大海	344	12.0%
3	翁田 大勢	90	3.1%
4	菊池 雄星	672	23.4%
5	山本 由伸	1694	59.1%
6	菅野 智之	572	19.9%
7	隅田 知一郎	116	4.0%
8	金丸 夢斗	225	7.8%
9	種市 篤暉	634	22.1%
10	高橋 宏斗	382	13.3%
11	藤平 尚真	45	1.6%
12	曾谷 龍平	52	1.8%
13	北山 亘基	135	4.7%
14	松本 裕樹	68	2.4%
15	わからない	542	18.9%
回答人数		2868	

■設問 準々決勝以降、活躍してほしい侍ジャパンの野手・指名打者は誰ですか？（3名以内）

No.	結果	件数	率
1	若月 健矢	65	2.3%
2	坂本 誠志郎	106	3.7%
3	中村 悠平	52	1.8%
4	牧 秀悟	218	7.6%
5	小園 海斗	112	3.9%
6	牧原 大成	49	1.7%
7	源田 壮亮	141	4.9%
8	佐藤 輝明	425	14.8%
9	岡本 和真	362	12.6%
10	村上 宗隆	494	17.2%
11	近藤 健介	298	10.4%
12	周東 佑京	382	13.3%
13	森下 翔太	275	9.6%
14	吉田 正尚	896	31.2%
15	鈴木 誠也	826	28.8%
16	大谷 翔平	1643	57.3%
17	わからない	347	12.1%
	回答人数	2868	

■ 調査結果のポイント

「WBC 難民」が続出？ 全体の 58.7%がリアルタイム視聴を断念。

デジタル格差の鮮明化： 若年層の Netflix 視聴は 4 割を超えるが、70 代以上は 2 割にとどまる。

ラジオ・radiko の再評価： 70 代以上では、ラジオ聴取（14.8%）が Netflix 視聴（21.6%）に迫る高い割合に。

「地上波希望」はシニア層で約 6 割： 年齢が上がるほど「国民的行事は地上波で」という要望が顕著。

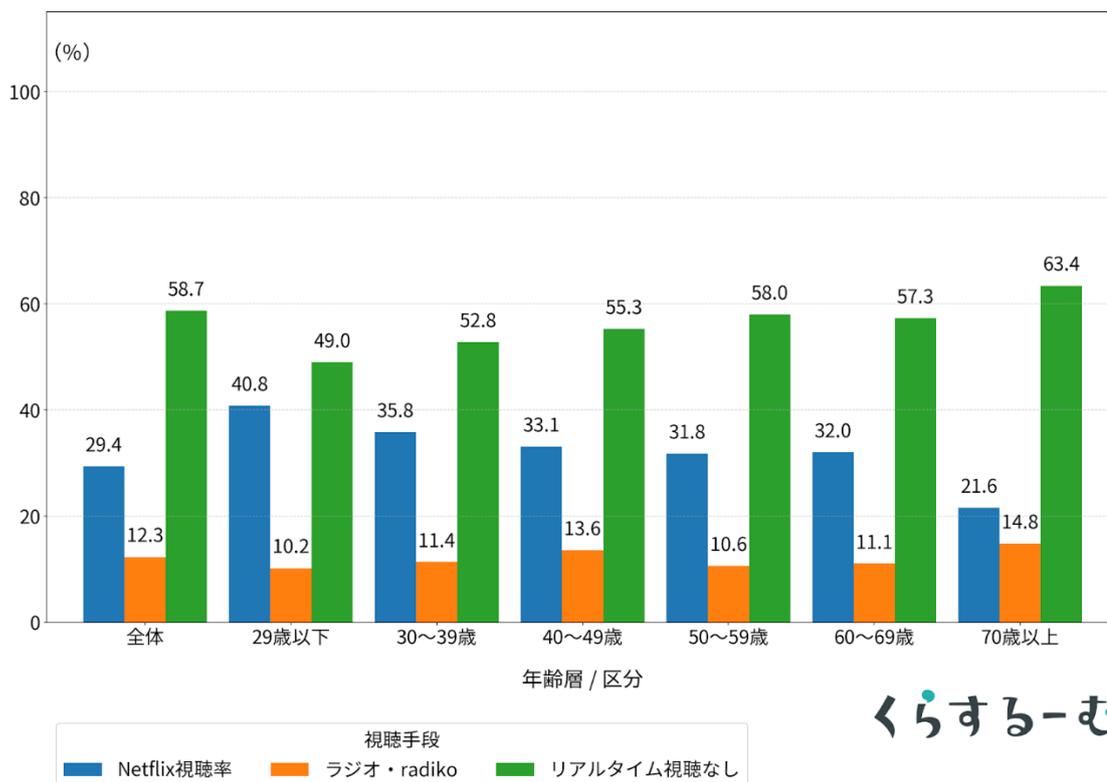
■ コメント

産経リサーチ&データ調査部長 高本仁司

「新たな視聴スタイルについて、若年層はビジネス判断として理解を示している面もあるが、年齢が上がるにつれて地上波での放送を求める意見が多い。浸透するまでに時間がかかるのではないか」

# 調査詳細・分析まとめ

あなたはWBCをリアルタイムで視聴しましたか



くらする-む

## 1. リアルタイム視聴は一部に限定。過半数が「速報待ち」に

今回のWBCのリアルタイム中継が「Netflix 独占配信」とラジオ中継であることを知っていた人は78.1%に上り、開幕前から大きな注目を集めていました。しかし、実際にリアルタイムで視聴した人は約4割にとどまり、58.7%は「リアルタイムでは見ていない（ニュースやSNSでの結果確認のみ）」と回答。地上波という「誰でもすぐに観られる」環境が失われたことで、多くのファンにとって観戦のハードルが大きくなった実態が浮き彫りとなりました。

## 2. シニア層の受け皿となった「ラジオ」の存在感

視聴手段を世代別に見ると、非常に興味深い傾向が見られました。Netflixの利用が難しい層、あるいはテレビ放送がないことを受けた代替手段として、70代以上の層では「ラジオ・radiko」による音声での実況聴取が14.8%に達しました。これは同世代のNetflix視聴率(21.6%)に肉薄する数字であり、デジタル配信が主流となる中で、古くからの野球観戦スタイルである「ラジオ」が重要な役割を果たしています。

## 3. 若年層はビジネス判断に理解を示す一方、競技の将来を危惧

地上波放送がないことへの意見では、世代間で捉え方が分かれました。

29歳以下：「放映権料高騰を考えれば、Netflix 独占というビジネス判断は仕方ない」という理解が26.5%と全世代で最も高く、時代の流れを冷静に受け止めています。

70歳以上：一方で、58.8%が「日本代表が戦うような大イベントは、誰もが観られる地上波で放送すべき」

と強く要望。

また、29歳以下の層では「子供たちが偶然目にする機会が減り、将来の野球人気さが下がりそうで心配(12.2%)」という回答がシニア層の約2倍となっており、若者ほど「無料放送がなくなることによる競技人口や人気への影響」を不安視していることがわかりました。

■調査名：WBC 緊急アンケート

調査対象：有効回答 2,868人

調査期間：2026年3月10日～3月11日

調査方法：弊社サイト「くらするーむ」会員を対象としたインターネット調査

■回答者詳細

性別構成：男性：1,969人(68.7%) 女性：894人(31.2%) 無回答：5人(0.2%)

年代構成：20代まで：49人(1.7%)、30代：123人(4.3%)、40代：257人(9.0%)、50代：603人(21.0%)、60代：1021人(35.6%)、70代：676人(23.6%)、80代以上：139人(4.8%)

■産経リサーチ&データについて

自社モニター組織「くらするーむ」を活用したインターネット調査のほか、自治体のまちづくり支援、企業の商品開発支援、生成AIの制作、企業の広報やPRプロモーションなど行うマーケティング会社です。

<https://sankei-rd.co.jp/>

【お客様からのお問い合わせ先】

株式会社産経リサーチ&データ（担当：江田）

電話：03-3231-3333

メール：[info@sankei-rd.co.jp](mailto:info@sankei-rd.co.jp)